

2026 年度 第 1 回 独立行政法人国立病院機構中央特定認定再生医療等委員会 議事概要

開催日時：2026 年 7 月 14 日 10：05～10：20

開催形式：委員会開催（Web+会場（臨床研究センター4 階 カンファレンスルーム））

委員出欠：

	氏名	性別	構成要件	委員会設置者との利害関係	出欠
委員長	眞田 昌	男	A	有	○
副委員長	飯田 浩充	男	B	有	×
委員	後藤 百万	男	B	無	○
委員	大倉 華雪	女	D	無	○
委員	服部 千鶴	女	E	無	○
委員	松井 健志	男	F	無	○
委員	飯島 祥彦	男	F	無	○
委員	嘉田 晃子	女	G	有	×
委員	末永 雅也	男	C	有	×
委員	鈴木 中人	男	H	無	○
委員	安藤 明夫	男	H	無	○
委員	森川 ゆず	女	H	無	○

（構成要件）A：分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家

B：再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者

C：臨床医

D：細胞培養加工に関する識見を有する者

E：法律に関する専門家

F：生命倫理に関する識見を有する者

G：生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者

H：A～G 以外の一般の立場の者

I：技術専門委員

（出 欠）○：出席し、審議・採決に参加

×：欠席

－：当該再生医療等提供計画への関与等により審議・採決に不参加

委員会成立要件及び利益相反の確認：

事務局より、飯田委員・嘉田委員・末永委員欠席、委員会成立要件は満たしていることを委員長に報告。委員長より、委員変更に伴い新たな委員として、委員長後任に眞田昌委員、松山委員の後任として大倉華雪委員が紹介され、各委員より挨拶があった。

審査開始にあたり、委員長より、出席委員の利益相反について確認され、審議・採決に問題ないことを確認した。

【議 題】

1. 再生医療等提供計画等の審査

委員会成立を確認し、以下の審査を行った。

1-1. 定期報告

整 理 番 号	R2017-001		
再 生 医 療 等 の 名 称	脂肪組織由来間葉系ストローマ細胞を使用した臍帯血移植時における新規生着促進療法の安全性に関する臨床研究 (iCTAC2019)		
提 供 機 関 管 理 者	(代表) 愛知医科大学病院 天野 哲也		
実 施 責 任 者	愛知医科大学病院 輸血・中央臨床検査部 中山 享之		
報 告 書 受 付 日	2026 年 6 月 18 日		
技 術 専 門 員	なし		
説 明 ・ 質 疑 応 答 者	なし		
審 査	再生医療等提供状況定期報告書に基づき事務局より説明した後、委員長より審議が進められた。 当該再生医療等の提供の状況について、当該報告期間における新規の同意取得・実施症例は 2 例（コホート 2 は計 3 例の登録）、累積症例数 6 例のうち 4 例は既に観察期間 1 年を終了し通常診療下にて経過観察の状況。提供ドナーにおいては、新規 1 例、2025 年 11 月 20 日保存（2 年有効）の ADSC 作成。当該報告期間において不適合の発生なし、安全性においても効果安全性評価委員会の意見も確認し因果関係はないとのこと、当該再生医療等提供の安全性及び科学的妥当性に関する新たな情報はなく、当該再生医療等研究の実施に問題ないと判断しているとの報告。 当該定期報告について、かなり長期間継続の状況ではあるが、しっかり確認して実施されていること、安全性においても因果関係ないことが確認されており、特に継続に問題ないとされた。 上記を踏まえ、今回の定期報告について、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結 論	判 定	適	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理 由 等		

2. その他

- ・事務局より、今後の予定について連絡した。

以上

文責：国立病院機構中央特定認定再生医療等委員会事務局